平成16年3月期　第1四半期業績の概況(連結)

平成15年8月8日

上場会社名　理研ビタミン株式会社　(コード番号：4526　東証第二部)
(URL http://www.rike-vita.co.jp/)
代表者　代表取締役社長　堺 美保　TEL(03)5275－5111
問合せ先責任者　取締役経理部長　山下 隆

1．四半期業績の概況の作成等に係る事項
売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無　：無

2．平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1)売 上 高　(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

	百万円	%
16年3月期第1四半期	17,916	3.7
15年3月期第1四半期	17,280	
(参考)15年3月期	68,412	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

(セグメント別売上高)

	16年3月期第1四半期	15年3月期第1四半期	前期比
	百万円	百万円	%
食品事業	15,048	14,484	3.9
家庭用食品	4,846	4,840	0.1
業務用食品	2,832	2,870	△ 1.3
加工食品用原料	3,906	3,315	17.8
食品用改良剤	3,462	3,457	0.1
化成品事業	1,277	1,143	11.6
ビタミンその他事業	1,590	1,652	△ 3.7
合　計	17,916	17,280	3.7

(参考)個別の売上高

	百万円	%
16年3月期第1四半期	16,147	△ 1.1
15年3月期第1四半期	16,320	
(参考)15年3月期	63,797	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期の売上高は、179億16百万円と前期比6億36百万円(3.7%)の増加となりました。セグメント別の概況は以下に記載のとおりであります。

《食品事業》

家庭用食品は、消費嗜好の更なる健康ニーズにより、化学調味料・食塩を無添加のだしの素「素材力」シリーズや「細切りめかぶ」等が伸張しましたが、「ノンオイルスーパードレッシング」や和風調味料「かつおちゃん」が減少したため、48億46百万円(前期比　6百万円　0.1%増)となりました。

業務用食品は、前期に引続き「ドレッシング」類が順調に売上の伸張をみましたが、厳しい価格競争が続く「乾燥わかめ」をはじめとして、わかめ関連商品の売上減のため、28億32百万円(前期比37百万円　1.3%減)となりました。

加工食品用原料は、青島福生食品有限公司を中心に欧米向けの「水産加工品」が最需要期を迎え、順調に伸張したため、39億6百万円(前期比　5億90百万円　17.8%増)となりました。

食品用改良剤は、リケビタ･マレーシアの増設工事が完成し、欧米あるいは中国･東南アジア向けの売上が増加しましたが、国内の加工食品全般の市況が低迷しており、また海外メーカーの国内市場への参入もあり、34億62百万円（前期比　5百万円　0.1%増）となりました。

《化成品事業》

化成品事業は、リケビタ･マレーシアの増設工事が完成し、中国･東南アジア向けの売上が増加し、また国内においても厳しい価格競争下、食品ラップ用や帯電防止用の添加剤等の数量増により、12億77百万円（前期比　1億33百万円　11.6%増）となりました。

《ビタミンその他事業》

ビタミンその他事業は、「医薬･化粧品用のビタミン」の売上が減少したため、15億90百万円（前期比　61百万円　3.7%減）となりました。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3．平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
中　間　期（A）	36,000	2,300	1,400	―
前回発表予想（B）	37,000	2,600	1,600	―
増減額（A－B）	△ 1,000	△ 300	△ 200	―
増　減　率（%）	△ 2.7 %	△ 11.5 %	△ 12.5 %	―
通　　期（A）	70,500	4,700	2,800	117.62
前回発表予想（B）	71,500	5,000	3,000	126.09
増減額（A－B）	△ 1,000	△ 300	△ 200	△ 8.47
増　減　率（%）	△ 1.4 %	△ 6.0 %	△ 6.7 %	△ 6.7 %
（参考）15年3月期	68,412	4,104	1,799	75.23

（注）1株当たり予想当期純利益は平成15年6月末の発行済株式数に基づき算出しております。

［業績予想に関する定性的な情報等］

当中間期の業績予想は、加工食品用原料が計画を上回る見込みでありますが、長引く個人消費の低迷と国内市場の競争激化･低価格化により、食品事業のうち、業務用食品･食品用改良剤等の売上が計画を下回る見込みであります。その結果、前回発表に対して、売上高は10億円減（2.7%減）、経常利益は3億円減（11.5%減）、中間純利益は2億円減（12.5%減）となります。

通期の業績予想は、同じく前回発表に対して、売上高は10億円減（1.4%減）、経常利益は3億円減（6.0%減）、当期純利益は2億円減（6.7%減）となります。

（参考）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
中　間　期（A）	33,000	2,100	1,200	―
前回発表予想（B）	34,000	2,500	1,500	―
増減額（A－B）	△ 1,000	△ 400	△ 300	―
増　減　率（%）	△ 2.9 %	△ 16.0 %	△ 20.0 %	―
通　　期（A）	65,000	4,400	2,500	105.02
前回発表予想（B）	66,000	4,800	2,800	117.72
増減額（A－B）	△ 1,000	△ 400	△ 300	△ 12.70
増　減　率（%）	△ 1.5 %	△ 8.3 %	△ 10.7 %	△ 10.8 %
（参考）15年3月期	63,797	3,728	1,595	66.66

（注）連結、個別業績予想につきましては、現時点において想定できる経済情勢、市場動向や事業環境などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因変化により、予想と実際の業績が異なる可能性があります。